

2006年度共育活性委員会事業報告書

コミュニティ活性室 室長 山下 修
共育活性委員会 委員長 那須清彦

1. 委員会開催日 (18回)

1 / 20 2 / 10 3 / 13 3 / 28 4 / 17 5 / 15 5 / 23 6 / 15
6 / 26 6 / 28 7 / 3 8 / 28 9 / 5 9 / 28 10 / 25 11 / 20
11 / 22 12 / 14

2. 事業報告

わんぱく相撲 海部津島場所(5月例会)の担当 例会の担当	5月27日
11月23日 共育活性に関する事業	6月29日・9月7日・10月16日
わんぱく相撲愛知ブロック大会の担当	6月18日
東海フォーラム(東海地区)の担当	8月5日
JCデー(8月例会)への参画	8月27日
新入会員拡大の担当	通年

3. 委員会メンバー

那須清彦 長谷雄蓮華 福岡良幸 鶴見昌士 加藤英樹 角田祥三 佐藤桂介
住田高寿 樋口広美

4. 反省点及び申し送り事項

当委員会では、子ども達と共に地域の方々にモラルの大切さや、命の大切さ、生きていることの素晴らしさを感じる事の出来る、例会と事業を行いました。

私たちが伝えなかった事を正面から受け止めていただき、参加された方々の関心の高さが感じられました。しかし、より多くの親子に伝えていくためには、広報の仕方、募集方法等を加味し、継続していかなければなりません。

申し送り事項といたしましては、我々がこれまで築いてきた地域とのネットワークを使い、この地域の教育に携わる方々との信頼関係の構築を行い、少しずつその輪を広げてゆく事が必要だと考えます。また不測の事態に直面するたびに、計画、事前準備の大切さを強く感じました。

最後にわんぱく相撲に関して、わんぱく相撲運営マニュアルを作成し事務局に保管してありますので、次年度以降、担当委員会に活用していただける事を願います。

5. 委員長所見

公開例会を含め対外的な事業や経験を通して、地域の方々や各種団体の皆さんと打ち合わせ、思いを伝える難しさを痛感いたしました。メンバーに助けられ、委員長としての責務を終えることが出来ました。

この一年間に教育に携わる行政、各種団体、そして子供たちと共にJC活動を行いました。例

会や事業を通して、地域の方々や子供たちに何かひとつでも心に残せば、それが水面の波紋の様に広がり、より良い地域環境につながると思います。

委員長として子供たちの健全な成長に携わる機会を頂きまして誠に有難うございました。

6. 収 支 決 算

収入の部				支出の部			
予 算		決 算		予 算		決 算	
事業費	50,000	事業費	47,960		50,000		47,960
合 計	50,000	合 計	47,960	合 計	50,000	合 計	47,960